

129-1

第128回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

日時：平成24年2月10日(金) 13:30～16:30

場所：JR東海 品川ビルA棟

出席者：委員長 脇若（信州大）
副委員長 北野（JR東海）
委員 古関（東京大），坂本（鉄道総研，大橋委員代理）
長谷川（鉄道総研，岩松委員代理），樋口（長崎大）
森下（工学院大），矢野（産総研），渡邊（IEEJ）
幹事 村井（JR東海），水野（信州大）
幹事補佐 矢島（SMC）（記）
ワグザンバ 上田（東芝）

提出資料

- 128-1 第127回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（矢島幹事補佐）
- 128-2 平成24年度（H24年4月～H25年3月）活動計画（3次案）（脇若委員長）
- 128-3 平成23年度リニアドライブ技術委員会活動報告（脇若委員長）
- 128-4 平成23年電気学会産業応用部門研究会論文発表賞（北野副委員長）
- 128-5 産業応用フォーラム「環境調和型社会と磁気浮上技術の動向」（矢野委員）
- 128-6 第24回電磁力関連のダイナミクス発表申し込み状況（2012年2月8日現在）（脇若委員長）
- 128-7 電気学会7月の研究会について（北野副委員長）
- 128-8 委員会構成員変更届（脇若委員長）
- 128-9 モータドライブ・リニアドライブ合同研究会報告（水野幹事）
- 128-10 2011年12月モータドライブ・リニアドライブ合同研究会開催報告（坂本代理）
- 128-11 マグネティックス・リニアドライブ合同研究会（脇若委員長）
- 128-12 ICEM（脇若委員長）
- 128-13 ICEMS2012（脇若委員長）
- 128-14 ICEC24-ICMC2012（脇若委員長）
- 128-15 APS-AEM（脇若委員長）
- 128-16 産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会（MEL）活動報告（渡邊委員）
- 128-17 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 128-18 第10回産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会議事録（渡邊委員）
- 128-19 第16回新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会議事録（矢野委員）
- 128-20 第1回環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会議事録（坂本代理）
- 128-21 第2回環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会議事録（坂本代理）

議事

1. 議事録確認

資料128-1を基に、矢島幹事補佐から第127回委員会の議事録が確認され、下記を修正の上、承認された。

- ・誤字（本年度→次年度）
- ・項番号修正

2. 報告事項

2.1 資料128-2を基に、脇若委員長から、次年度のLD研究会の予定が下記のように確認された。

- ・7月 LD研究会（仙台），TERと共催，担当：北野副委員長
- ・8月 LD研究会（関西），RM，HCAと共催，担当：LD技委（平田委員）
- ・10月 LD研究会（つくば），担当：MDD
- ・11月 LD研究会（東京），担当：LD技委（和多田先生）
- ・12月 LD研究会（札幌），MDと共催，担当：MLV
- ・2013年2月 LD研究会（東京），担当：MEL

2.2 資料128-3を基に、脇若委員長から、本年度のLD技術委員会の活動報告が説明された。2011年のLD研究会の発表件数が目標95件を超え、109件だった。安川電機の工場見学は実施できず延期と

する。MLVの産業応用フォーラムを3月9日に開催する。

- 2.3 資料128-4を基に、北野副委員長から、H23年電気学会産業応用部門研究会論文発表賞について説明された。LD研究会からは、本部表彰が2名、部門表彰が2名受賞した。後日、LD技委で表彰式を行う。
- 2.4 資料128-5を基に、坂本代理から、3月9日に開催される産業応用フォーラム「環境調和型社会と磁気浮上技術の動向」について説明された。IEEEから転載している図の著作権問題によって技術報告書の発刊が遅れている。
- 2.5 資料128-6を基に、脇若委員長から第24回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウムの状況について説明された。発表申し込みが121件あった。H25年度はAEM学会が担当し、東海大 押野谷先生を委員長として開催する。 例/5/
- 2.6 資料128-7を基に、北野委員長からLD研究会について説明された。7月19日・20日に仙台で開催する。また、7月20日の午後、JR東日本のATACSを見学する。
- 2.7 資料128-8を基に、脇若委員長から、LD技委の委員変更について説明された。安川電機 鹿山委員から白石委員に交代する。
- 2.8 資料128-9、資料128-10を基に、水野幹事、坂本代理から12月に開催されたMD・LD合同研究会について説明された。2日間で97名参加し、32件発表された。
- 2.9 資料128-11を基に、脇若委員長から2月に金沢で開催されるLD研究会について説明された。
- 2.10 資料128-12を基に、脇若委員長からICEM(9月フランス)について説明された。
- 2.11 資料128-13を基に、脇若委員長からICEMS2012(10月札幌)について説明された。
- 2.12 資料128-14を基に、脇若委員長からICEC24-ICMC2012(5月福岡)について説明された。
- 2.13 資料128-15を基に、脇若委員長からAPS-AEM(7月ベトナム)について説明された。

3. 審議事項

- 3.1 LD技委の委員構成について確認された。次年度から脇若委員長から北野委員長に交代する。それに伴い、水野幹事を副委員長とする。また、東京都市大 和多田先生を幹事にする案が出された。今月中に脇若委員長が委員構成を見直し、メール等で各委員に連絡する。
- 3.2 北野副委員長から、LD技委を活性化するため、年に6回開催されるLD研究会の懇親会をしては定例として、懇親会をしてはどうかと意見が出された。多くの賛同があり、次年度から検討する。
- 3.3 LD技委の事務作業を軽減することを目的とし、グループアドレスなどの使用が提案された。多くの賛同があり、次年度から検討する。
- 3.4 資料128-17において、MDDから多自由度アクチュエータに関する英文書籍を発刊する予定が説明された。海外の研究者に日本の技術を発信するためにも是非発刊したほうがよい、など、多くの賛同があった。

3.4 次年度のLD技委の開催予定が以下のように決定した

- ・第129回 2012年4月20日(金)
- ・第130回 2012年7月6日(金)
- ・第131回 2012年10月5日(金)
- ・第132回 2012年12月7日(金)
- ・第133回 2013年2月8日(金)

4. 各調査専門委員会活動報告

資料128-16～資料128-21を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

5. その他

脇若委員長から退任の挨拶があった。

以上